

## 事業所における自己評価総括表

公表

|                |                      |    |           |
|----------------|----------------------|----|-----------|
| ○事業所名          | チャレンジラボ 清水校          |    |           |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年2月1日～2025年3月25日 |    |           |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)               | 27 | (回答者数) 26 |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年3月1日～2025年3月15日 |    |           |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)               | 9  | (回答者数) 9  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年3月25日           |    |           |

## ○分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること          | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等  |
|---|---|---|---|
| 1 | 継続的な関わりの中で、一人ひとりのペースに応じて、これまで難しかったことが着実にできるようになっている | 小さな成功や変化を積み重ね、その子に合ったステップで自信につなげている   | 成長の過程を整理し、どのようにできるようになってきたかを、本人および保護者へ分かりやすく伝えていく         |
| 2 | 学習面に限らず、SST等の活動においても、一人ひとりの理解度や特性に応じた個別対応ができています    | 課題を細分化し、段階的に取り組めるようにすることで「わかる」を積み重ねている<br>また、どのような形であれば参加できるかを検討し、必要に応じて指導員と一緒に取り組むなど、その子に合った方法で参加できるよう配慮している | 思考整理や言語化の力を高める支援を強化し、自分で考えて取り組める力の定着を図る                   |
| 3 | コミュニケーションや人間関係に関する支援を継続的に行っている                      | 場面に応じた声かけややり取りを通して、伝え方や関わり方を具体的に学べるようにしている<br>また、その日あったことや最近気になることなどを毎回聞く時間を設け、スタッフと話す機会をつくることで信頼関係の構築につなげている | 実際の場面を想定した練習機会を増やし、日常生活で活かせる力の定着を図る                       |
|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること          | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                      |
| 1 | 緊急時の対応について十分な周知ができていない                              | 緊急時の対応や連絡体制について、保護者へ改めて確認・周知する機会が限られている   | 年1回の緊急連絡先の更新時にあわせて、対応方法や連絡体制についてお便り等で周知を行い、確実に確認できる機会を設ける |
| 2 | 地域との関わりが限定的である                                      | 生徒の支援に直接関わる学校(通級含む)や関係機関(カウンセラー、就労移行支援等)との連携を優先しているため、地域との広い関わり合いの機会が少ない                                      | 現在の連携体制を維持しつつ、生徒にとって必要性のある関係機関との連携を引き続き重視していく             |

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 3 |  |  |  |
|---|--|--|--|